

教育G P 「派遣型高度人材育成協同プラン」平成19年度成果発表会，機能性食品研究会人材育成委員会及び農学系派遣型人材育成プロジェクト委員会を開催致しました。

去る4月24日，大学院農学研究科において，教育G P 派遣型高度人材育成協同プラン「長寿長野を支える機能性食品の開発人材養成」の平成19年度成果発表会，機能性食品研究会人材育成委員会及び農学系派遣型人材育成プロジェクト委員会（以下合同会議）が開催されました。本教育プロジェクトは，文部科学省の「派遣型高度人材育成協同プラン」の一環で，平成17年度に選定され，本年度で3年目になります。

平成19年度成果発表会には，本学学生だけでなく，小宮山学長をはじめ，本教育プロジェクトに関係する企業・自治体の関係者並びに大学関係者約50名の方々が出席されました。

平成19年度は，大学院農学研究科機能性食料開発学専攻の伊藤洋介さん，増田倫久さん，中野将宜さん及び川口奏子さんの4名が，修士研究との両立というハードなスケジュールの中，昨年9月から約3ヶ月間にわたり，地元企業3社（伊那食品工業株式会社，養命酒製造株式会社及び株式会社サラダコスモ）で研修を行いました。参加学生4名は，本教育プロジェクトを通して習得・経験した，現場で必要となる考え方，学業では得られない実践的な知識等について成果発表を行いました。

これに先立ち，本教育プロジェクトの推進母体の合同会議が開催され，昨年度の活動報告と本年度の活動計画を審議しました。

本年度からは，独立専攻に加えて食料生産科学専攻，応用生命科学専攻でもこのインターンシップが単位化され，派遣先企業の拡大，参加学生の増加，事前・事後教育の充実等により，内容を一層強化した派遣・研修（7名程度）を予定しています。

なお，本プロジェクトの詳細は，農学部ホームページよりご覧いただけます。

<http://karamatsu.shinshu-u.ac.jp/gp/intern/index.html>



写真：（上・中）成果発表会の様子
（下）関連委員会合同会議